

プロ野球選手の初期成績を 基にした長期成績の予測

商学部3年 海老澤健太

目次

1. 研究の背景・目的
2. 先行研究
3. 研究の枠組み
4. 分析手法
5. 参考文献

1. 研究の背景・目的

- ・プロ野球選手はプロ入りから引退までの在籍年数が短く、プロ入り後3年程度で解雇される選手もいる。
- ・プロ入り後の初期成績から長期的な成績が予測できれば、長期的な視点でのより正確な選手評価や、最適な戦略策定が可能になるのではと考えた。

2. 先行研究

- ・ Career Trajectories in Baseball (Teddy Schall, Gary Smith)では、メジャーリーグの初年度の成績から選手のキャリアの長さを予測している。

3. 研究の枠組み

- ・ 長期成績に影響を与える指標の検討を行う。
- ・ 初期成績の指標を説明変数、長期成績の指標を被説明変数とし、回帰分析を行う。
- ・ 回帰モデルの適合性を確認する。
- ・ 各説明変数が被説明変数に与える影響を確認する。

4. 分析手法

- ・ 日本野球機構のオフィシャルサイトからデータを収集する。説明変数の数が多くなる可能性があるため、十分な量のデータを集める。
- ・ 利用するサンプルと指標を決定し、RかPythonを用いて回帰分析を行う。
- ・ 回帰モデルの適合性を検証し、改善を試みる。

5. 参考文献